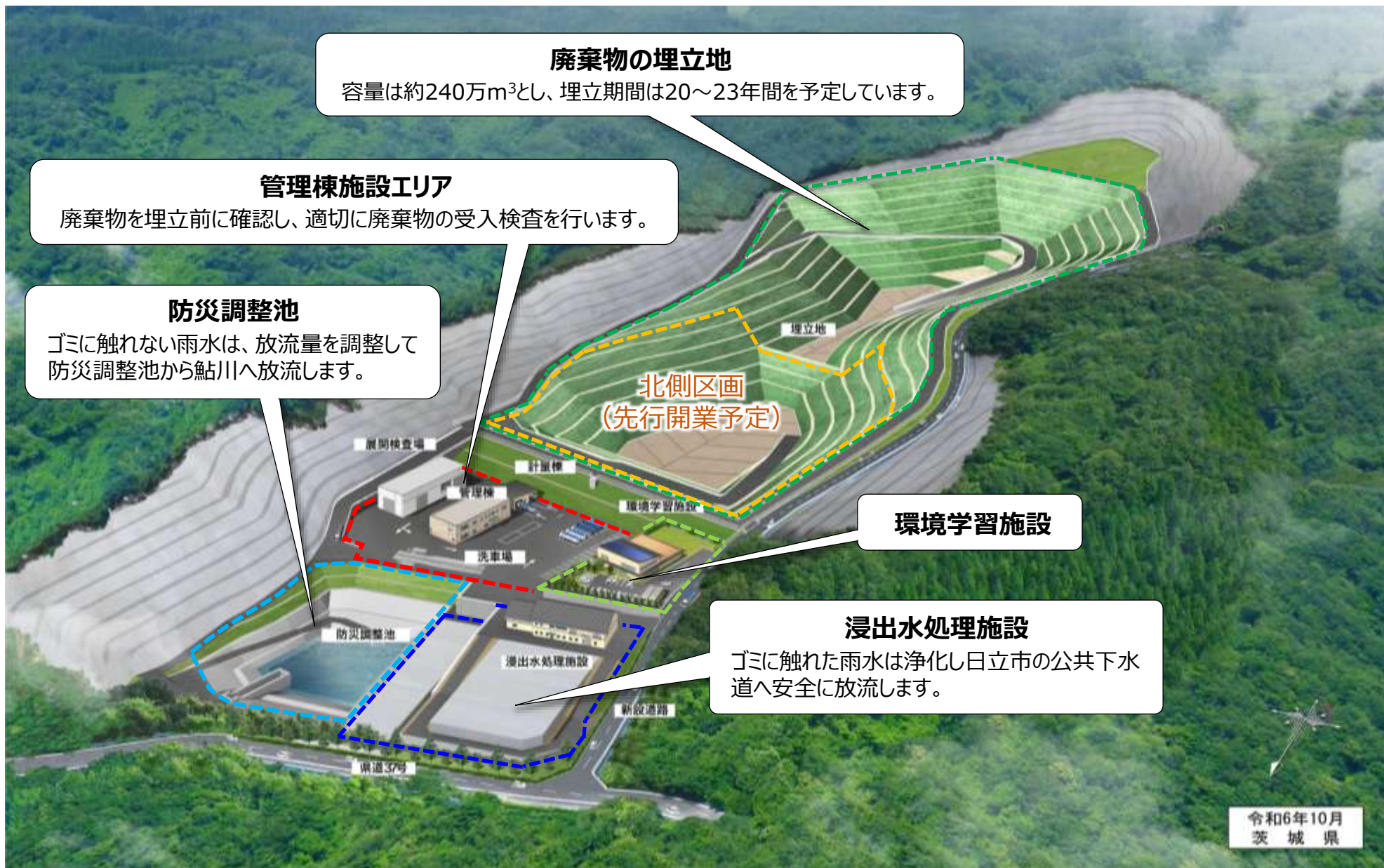


処分場建設工事の進捗状況及び 環境保全対策の実施状況等について

令和 8 年 3 月 8 日

一般財団法人 茨城県環境保全事業団

エコみらいひたち 完成予想図



廃棄物の埋立地

容量は約240万m³とし、埋立期間は20～23年を予定しています。

管理棟施設エリア

廃棄物を埋立前に確認し、適切に廃棄物の受入検査を行います。

防災調整池

ゴミに触れない雨水は、放流量を調整して防災調整池から鮎川へ放流します。

環境学習施設

浸出水処理施設

ゴミに触れた雨水は浄化し日立市の公共下水道へ安全に放流します。

令和6年10月
茨城県

処分場建設工事の進捗状況



令和8年1月28日ドローン撮影

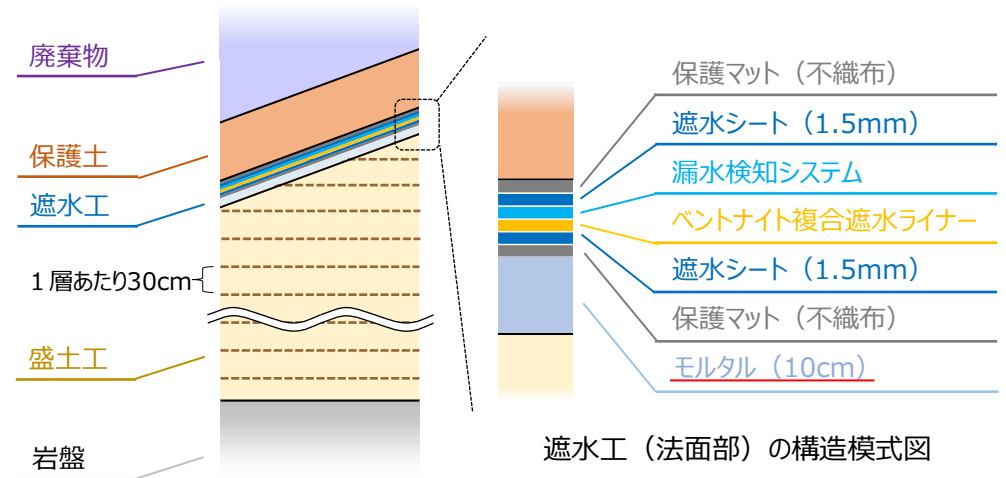
令和7年度の主な工事内容（1）

処分場埋立地の整備工事

エコみらいひたち完成予想図
(埋立地エリア)



最終処分場の埋立地（法面部）の概略構造



令和7年12月18日撮影

北側区画の盛土造成状況

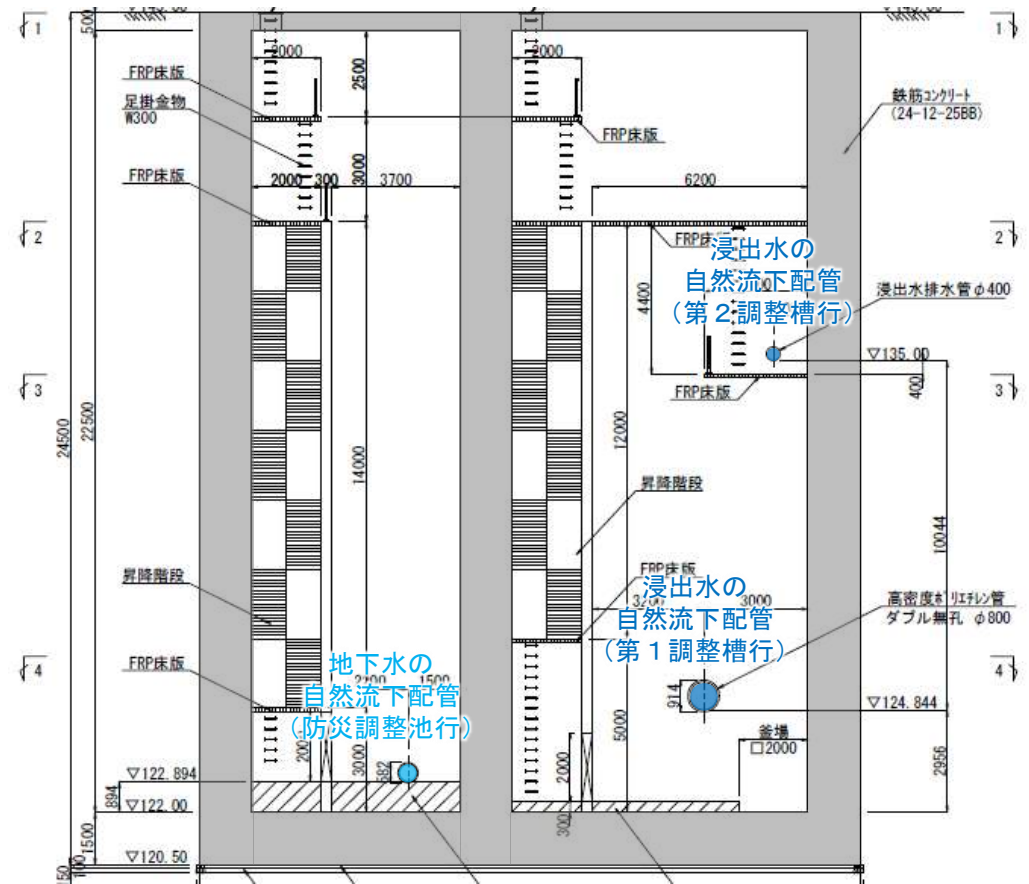


令和8年1月27日撮影

モルタル吹付状況

令和7年度の主な工事内容（2）

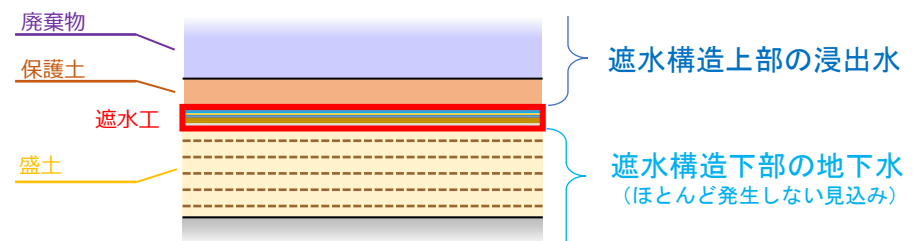
浸出水地下水集水ピットの築造



＜浸出水地下水集水ピットの断面図＞

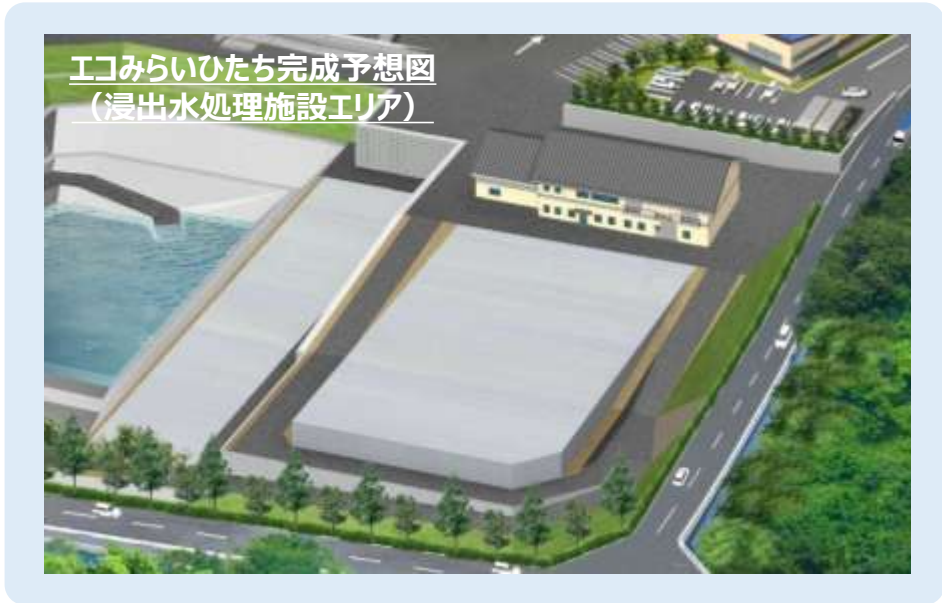


浸出水地下水集水ピットの築造状況

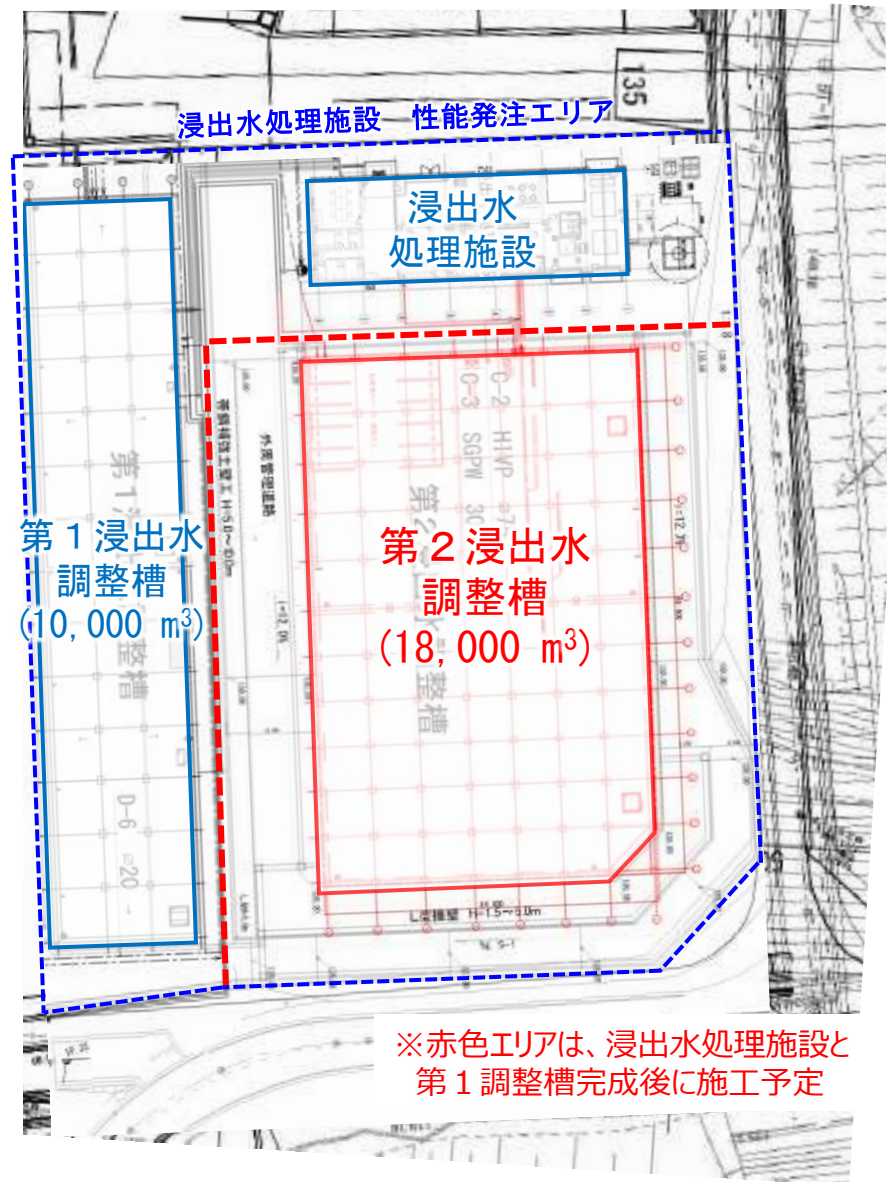


令和7年度の主な工事内容（3）

浸出水処理施設・調整槽の整備



第1 浸出水調整槽の築造状況

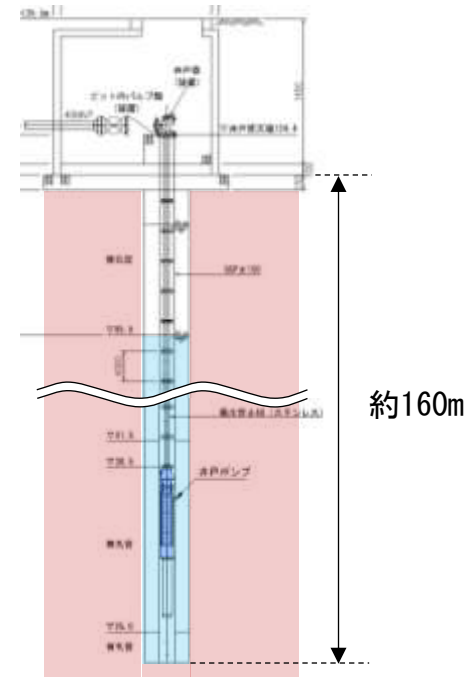


令和7年度の主な工事内容（4）

防災調整池等の整備



井戸の掘削



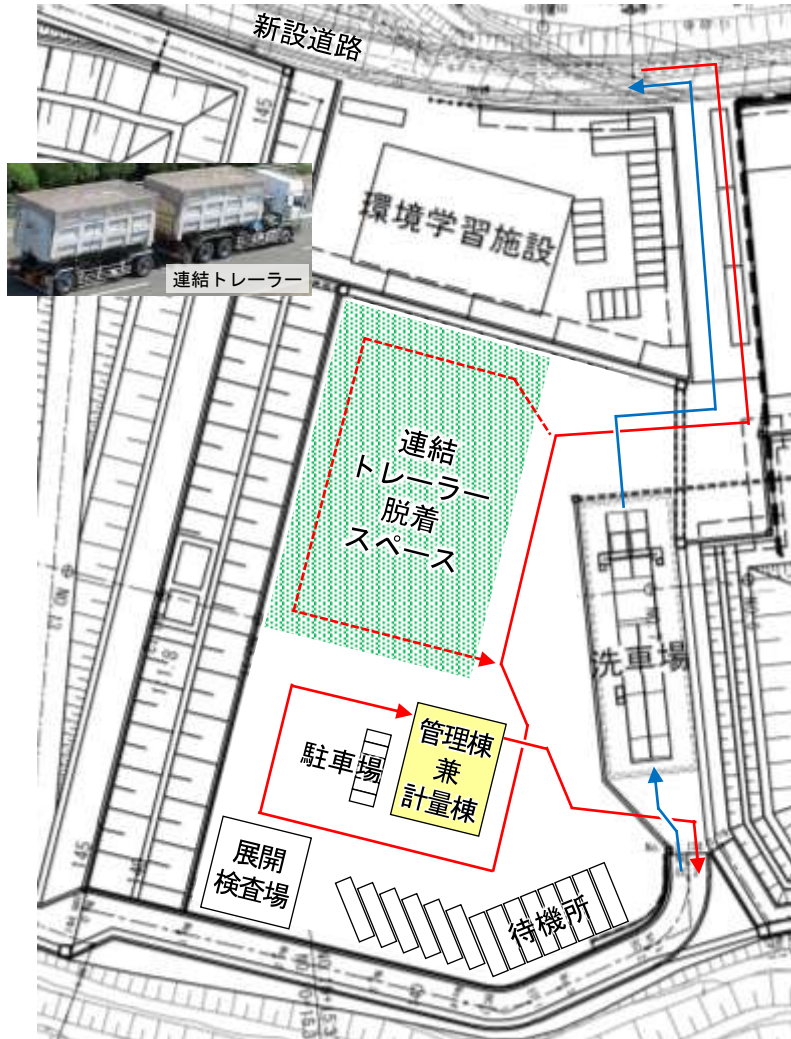
防災調整池 放流塔



防災調整池の造成状況

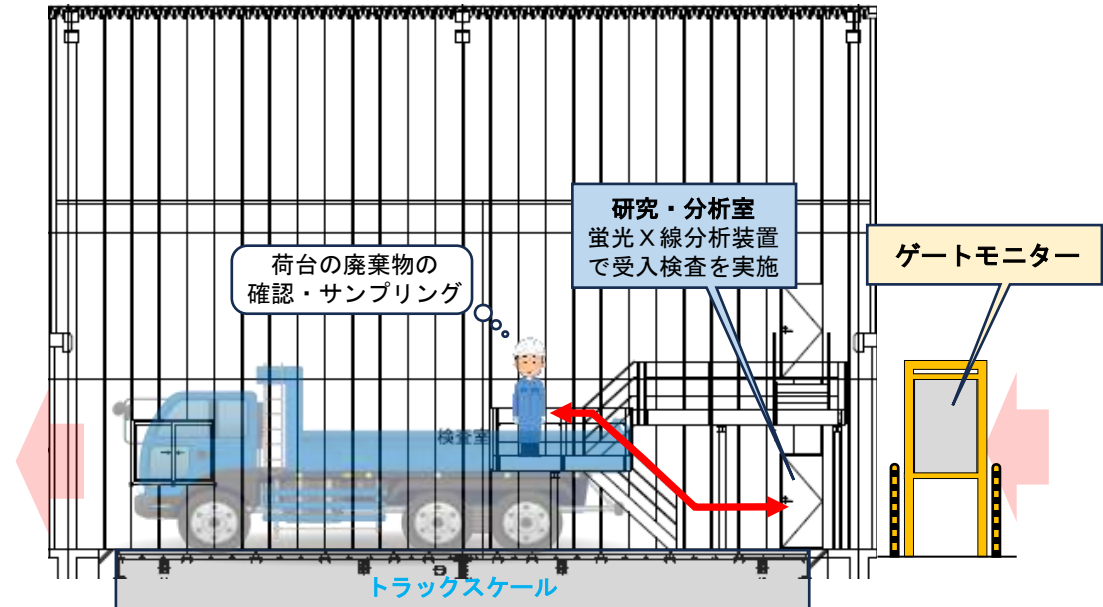
廃棄物受入方法の検討状況

→ 入場ライン → 退場ライン



管理棟エリアの配置の見直し

管理棟 兼 計量棟 西面



蛍光X線分析装置による
廃棄物の検査の方法を検討中



実際の廃棄物
採取サンプル









(株) 島津製作所HPより

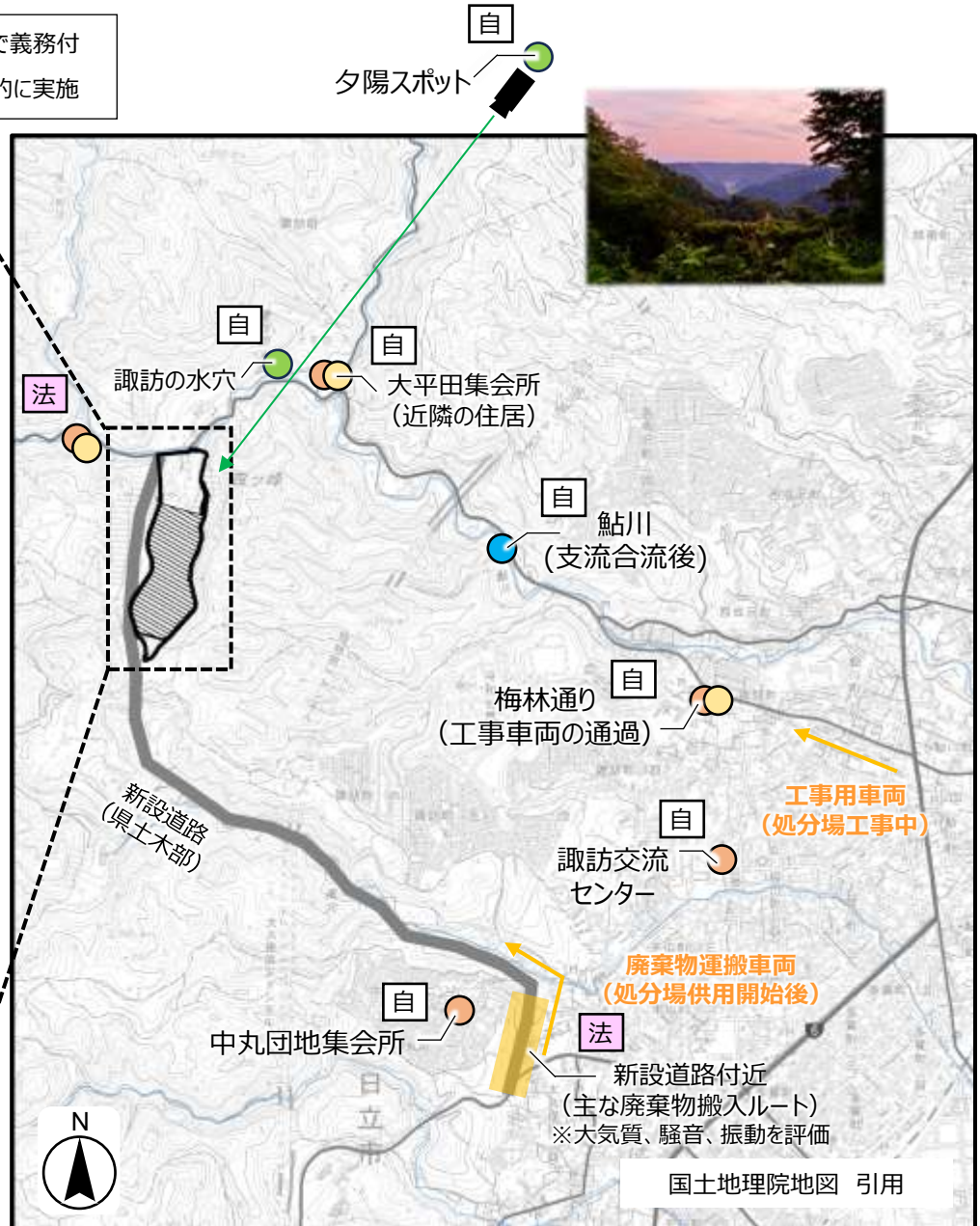
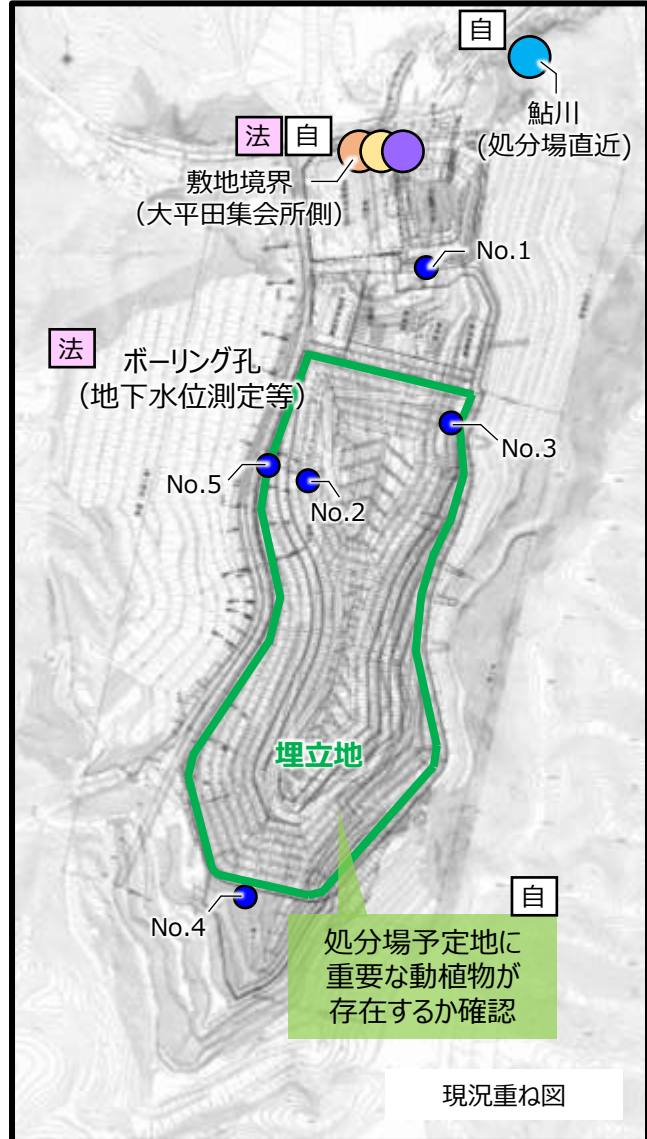
ゲートモニターによる
放射線測定を検討中



(株) テック・デル HPより

生活環境影響調査の予測評価項目

- | | | | |
|---|--|---|--|
|  大気質 |  悪臭 |  地下水 |  法 法律で義務付 |
|  騒音・振動 |  水質 |  その他環境 |  自 自主的に実施 |



工事中の環境対策

環境影響要因		評価項目	環境保全対策
工事中	建設機械の稼働	窒素酸化物、浮遊粒子状物質 二酸化硫黄	<ul style="list-style-type: none"> 排出ガス対策型の建設機械を使用する。 建設機械は、不要なアイドリングを行わない。
		粉じん	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて散水を実施する。 ダストファイターによる散水の実施（技術提案）
		騒音、振動	<ul style="list-style-type: none"> 低騒音型の建設機械の使用に努める。 振動が発生しにくいように極力高負荷運転を避ける
工事中	車両の運行	窒素酸化物、浮遊粒子状物質	<ul style="list-style-type: none"> 資材及び機械の運搬に用いる車両は、排出ガス対策型の低公害車の導入を促進する。
		粉じん	<ul style="list-style-type: none"> 粉じんの巻きあがりが起こりにくいように走行速度を遵守する
		騒音	<ul style="list-style-type: none"> 資材及び機械の運搬に用いる車両は、急発進、急ブレーキを行わず、車両は運行速度を厳守するよう請負業者に指導する。
		振動	<ul style="list-style-type: none"> 資材及び機械の運搬に用いる車両は、積載量等の交通規制を遵守し、アイドリング、急発進、急停車をしないなどの丁寧な運転を心がける。
工事中	切土工等、 処理施設の設置等	水の濁り	<ul style="list-style-type: none"> 工事時は必要に応じて適切な規模の沈砂池を設置する。 バイオログフィルター設置による濁度の低減（技術提案）
工事中	最終処分場の存在	地下水	<ul style="list-style-type: none"> 施工中の地下水位をモニタリングし、必要に応じて対策を実施する。
工事中	処分場の存在、 埋立作業	動植物・生態系	<ul style="list-style-type: none"> 代替池を設置し、改変前に確認地点からトンボ類の幼虫等の移植を行う。 カゴノキ、キジョランの個体移植を行う。
工事中	切土工等、処理施設 の設置等	廃棄物等	<ul style="list-style-type: none"> 本事業で発生した建設廃棄物（コンクリート殻）については、建設リサイクル法等に基づき、再生利用を図る。
工事中	建設機械	二酸化炭素	<ul style="list-style-type: none"> 低燃費型あるいは低炭素型の建設機械を使用する。 建設機械は、不要なアイドリングを行わない。 エレクトリックブルドーザーの使用（技術提案）
	車両運行	二酸化炭素	<ul style="list-style-type: none"> 資材及び機械の運搬に用いる車両は、排出ガス対策型の低公害車の導入を促進する。

※赤字部分抜粋

昨年度から実施している環境保全対策等について

騒音・運転マナー対策

新産業廃棄物最終処分場建設工事 安全運行指導事項（株木JV）

1. 右の図1の運行ルート以外の通行を禁止する(4t以上の車両)
2. 梅林通りを運行する工事用車両の運行時間は、9時以降とすること
3. 騒音、振動の影響の防止のため、急発進、急ブレーキ、クラクションの使用を禁止すること
4. 一般車両と区別できるように、工事用車両は露出する掲示物を必ず掲示すること(図2)
5. 梅林通りへの進入は、油縄子交差点を水戸側(西側)からの左折のみとすること(山形道路通行禁止)
6. 梅林通りからの退出時、油縄子交差点は左折又は右折のみとし、直進を禁止とする。また、山形道路の通行は撥入時同様に禁止とする
7. 撥出時の掲示物は、油縄子交差点を通過後、安全な場所で取外すこと
8. 梅林通りの法定速度(40km/h)を遵守すること
9. 万が一事故が発生した場合、緊急連絡先へ連絡をすること
10. 小学校下校時間のため、14:00~16:00の撥入出時児童に注意すること
11. 横断歩道を渡る又はする歩行者がいる場合は必ず一時停止をすること
12. 油縄子交差点左折後の道路が狭く彎曲しているため、一般車両との接触の無いよう注意すること
13. 撥入車両運転前に、運行ルートを理解しておくこと
14. 道路交通法を遵守して運行をすること




図1 工事用車両の通過ルート

緊急連絡先	
1	
2	
3	
4	
5	代表者正副 株主連絡 茨城支部

工事用車両

産 No.

茨城県 株木、水戸、郡山、鹿嶋、舟橋沢
鹿嶋区 茨城県建設業協会

図2 工事用車両の掲示物
令和7年6月11日更新

動植物の移植措置



請負業者による工事中の周辺環境への配慮



工事内容等の周知状況（ホームページ・現場見学会）

ホームページでの周知



事業団や請負業者のホームページでは、工事の進捗状況や環境モニタリングの結果等について、わかりやすくお知らせしています。

現地見学会の実施



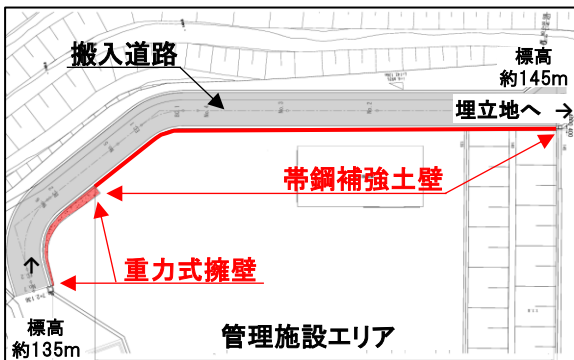
地元の皆様の理解を深めるため現地見学会を開催しています。
＜R6年度：3回開催、R7年度(現時点)：2回開催＞

令和8年を迎え、早いもので1ヶ月が過ぎました。まだまだ寒い時期が続いておりますが、路面凍結等にも注意しながら、引き続き安全安心を第一に「エコみらいひたち」の建設を進めてまいります。今号では、擁壁工の施工状況と施工管理ワーキンググループの開催状況をお知らせいたします。



擁壁工の施工状況

管理棟や展開検査場を整備する管理施設エリアは、計画上の高さとなる標高約135mまで盛土工事が進んだことから、廃棄物の運搬車両が管理施設エリアから埋立地内に入るための搬入道路の整備を開始しました。この搬入道路の入口(約135m)と出口(約145m)の高低差は約10mとなるため、現在、「重力式擁壁」と「帯鋼補強土壁」の2種類の擁壁構造により、搬入道路側面の補強工事を行っています。「重力式擁壁」は、コンクリート自体の重さで背後の土圧を受け止めて安定させる擁壁で、「帯鋼補強土壁」は、コンクリート製の壁面材と鋼製の帯状補強材により安定性を確保して垂直な壁面を構築する擁壁です。



<埋立地への搬入道路と擁壁工計画図>



<重力式擁壁>



<帯鋼補強土壁>

【お問い合わせについて】

担当：一般財団法人 茨城県環境保全事業団 新最終処分場整備日立事務所
電話：0294-33-8731 E-mail: seibi@ef-kasama.or.jp
その他：工事に関するお知らせは、茨城県環境保全事業団の
ホームページ(<https://ef-kasama.or.jp/newfacility/info>)
又は二次元コードからご確認いただけます。



第3回施工管理ワーキンググループの開催状況

昨年12/13(土)に多賀図書館にて、第3回施工管理ワーキンググループを開催しました。

今回のワーキンググループでは、「遮水工の施工方法・品質管理方法」と「浸出水処理施設の設計」について審議され、地元代表者が傍聴する中で、各専門家からの質疑が行われました。

提案した施工方法・品質管理方法や設計内容については、概ね問題ないとのご意見をいただきましたので、各専門家からいただいた助言も取り入れながら、引き続き、処分場の完成に向けて着実に工事を進めてまいります。

また、当日は各専門家による現地視察を行い、工事の進捗や施工状況を確認していただきました。



＜施工管理ワーキンググループの様子＞



＜現地視察の様子＞

上下水道工事に伴う交通規制予定箇所（2月）



処分場建設工事中の環境モニタリング

● **大気質(10月測定)**

工事の影響はほとんどなく、全ての地点で環境基準値未満でした。

● **騒音・振動(10月測定)**

工事の影響はほとんどなく、全ての地点で環境基準値未満でした。

● **地下水(10月測定)**

工事の影響はほとんどないことを確認しました。



処分場建設工事中の環境モニタリング実施地点

環境モニタリングの詳細な結果は、事業団のホームページで公開しています。



処分場建設工事中の環境モニタリング結果

新産業廃棄物最終処分場の工事進捗のお知らせ

(一財)茨城県環境保全事業団 新最終処分場整備日立事務所

住所：日立市多賀町2-1-4多賀町カシマビル1

TEL：0294-33-8731

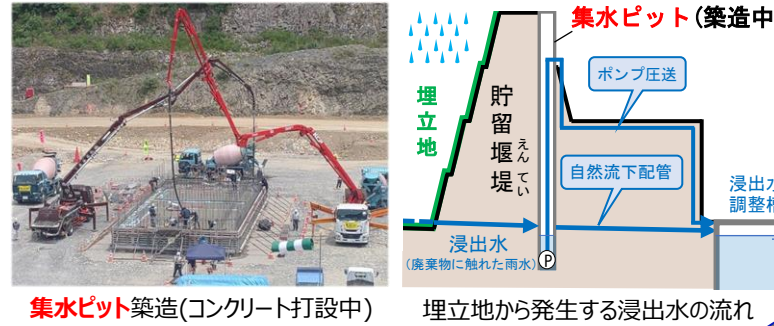
現在、最終処分場の埋立地の基盤となる**造成工事**を順調に進めており、**集水ピットの築造工事**に着手しております。また、新産業廃棄物最終処分場の名称を「**エコみらいひたち**」に決定いたしましたので、併せてお知らせいたします。

「エコみらいひたち」の名称について

エコフロンティアかさまの後継となる公共処分場として「**環境や豊かな自然との調和を図りながら未来にわたって社会や地域に貢献する施設を目指す**」という想いを込めました。



エコみらいひたちの位置



集水ピット築造(コンクリート打設中)

埋立地から発生する浸出水の流れ

令和7年8月28日
ドローン撮影写真

盛土材料
運搬

新設道路
<県工事>
(裏面参照)

埋立地造成エリア

防災調整池
設置エリア

浸出水処理施設
第1・第2浸出水調整槽
設置エリア

工事の状況をホームページでも紹介

事業団と工事請負業者は、「エコみらいひたち」の整備状況についてホームページ等で情報提供しています。



事業団HP
二次元コード



地元配布している広報誌



工事請負業者HP
二次元コード



工事情報の紹介(株木JV)

周辺道路の整備状況



茨城県高萩工事事務所

茨城県 (担当) 道路整備第三課

茨城県では**エコみらいひたち**の整備に合わせて、廃棄物運搬車両のほか一般車も走行できるアクセス道路として、山側道路（県道61号日立笠間線：大久保町地内）から県道37号日立常陸太田線（諏訪町地内）を結ぶ区間に新たな県道をつくっています。併せて、諏訪梅林を通る既存の県道には、歩行者が安全・安心に通行できるよう歩道の整備を進めています。

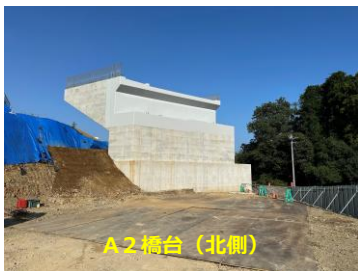
① (仮称) 第1号橋

新設道路において、山側道路（県道61号）をまたぐ高架橋になります。これまでに橋台（2基）が完成しました。来年には橋桁を架ける工事を計画しており、この工事に伴い、山側道路の一部区間は夜間通行止となります。

※詳しくは、改めてお知らせします。



A1 橋台 (南側)



A2 橋台 (北側)



周辺道路の整備は各地で進められており、今回は橋と歩道の現場を紹介します。



<ワンポイント！>

歩道の整備では、道路と川が接する用地がない区間は、川の上空に張出した形で作っています。



② 歩道の整備

諏訪梅林を通る県道37号（日立常陸太田線）には歩道がないため、地域の皆さんや梅林を訪れる方々が安心して道路を利用できるよう、上諏訪橋付近からエコみらいひたちまでの区間に歩道（片側）の整備を進めています。

一部の区間は既に工事が完了し、新しい歩道が通れるようになりました。



完成した歩道



張出し構造